

新宮山彦ぐるーぷ第2208回

総本山園城寺第164代長吏拝堂式と就任の集い

◇実施日 11月7日(月)

晴

◇参加者 梶野照雄

1名

園城寺(三井寺、滋賀県大津市)では、先の長吏死去に伴い新長吏が2年前に就任していたが、コロナ過で杯堂式が延期されていたが、その後再び感染者数が増え始め、周りからは「三井寺さん、大丈夫ですか？」の声もあつたそう。



受付



金堂



白砂利の道

当日は一番早く行けるJR新快速を使って大津京まで行き、京阪に乗り換えて三井寺まで行った。駅から三井寺までには、拝堂式に

出席されるとみられる人が多数歩いていて、三井寺に向かう車も多かった。

受け付けは入山料を支払う窓口の奥だったが、出席者はフリーパスで通過できた。受付を済ませて拝堂式が行われる金堂に向かった。開始までに30分程あるので、付近をぶらぶら歩く。観光客もちらほら居て、「何があるのかな？」と金堂の方を見ていた。

金堂から灌頂堂まで、道の中央に白砂利が敷かれていた。この上を通るのだろうと思つて、灌頂堂の前に陣取り新長吏の通過を待った。



新長吏の行列

最後尾は福家長吏

金堂前で儀式

午前10時ちよつと前に、僧16名に先導され福家俊彦(ふけしゅんげん)長吏が金堂までの200mを歩いて向かわれた。金堂ではお堂前に造られた舞台状の場所でお経、堂内に移って長い読経が続いた。

金堂での儀式は1時間15分続き、午前11時15分に金堂からの退出が始まった。来た道に戻り、灌頂堂で終了となった。



金堂を出る



灌頂堂で終了



拝堂式が無事に終わり、三井寺が用意したバスで、就任の集いが開かれるびわ湖大津プリンスホテルに向かった。バスは5台以上あったようだ。



びわ湖大津プリンスホテル



開場



ホール内

プリンスホテルに到着、開会までに一時間ほどあったのであちこち見て回る。会場は別棟のホール2階で、一階は結婚式場などになっているようだ。外で到着する人を見てみると、次々と黒塗りの高級車が停まり、見ている間だけでも300人位が到着した。

午後1時に開会する。式場のホールは大変広く、指定された中央付近の席に着いたが、一番端は遠くて人の顔が判別できない。

福家長吏が挨拶し、お孫さんからの花束を受け取られた。

「じいじい、お誕生日おめでとう」だった。少し笑いが漏れた。

能や琴の演奏があったが、来賓などの祝辞が1時間ほど続いて、その後鏡開きが行われた。壇上に五つの薦被りが並べられ、それぞれに6人ずつ、合計30人が壇上に上がった。その中には延暦寺、石山寺、聖護院門跡、金峯山寺、七宝龍寺、平安神宮など、名だたる寺社の長がおられた。



テーブルがぎっしり



福家長吏入場



鏡開き

料理が運ばれてきたのは開始から1時間半を過ぎた、午後2時半

過ぎだった。料理を口にしながら同じテーブルの人と名刺交換する。

「お宿を経営されてるんですか？」と、名刺の行仙宿を見て尋ねてこられた。奥駈道を全くご存じない人に一から説明するのは骨が折れる。おみやげに頂いた「三井寺青眼抄」という本の中に大峯奥駈修行の項があり、その中で当ぐるーぶと玉岡相談役宅が紹介されていたので、本を示して説明した。

午後4時過ぎにデザートが運ばれてきて、ようやく宴は終了した。ホテルのバスでJR大津駅まで行き、山科で地下鉄に乗り換え、三条から京阪で帰った。JRで大阪まで行く方が早いのだが、2日前にも京都線で大幅な遅れがあったので、あえて京阪を使った。

JR京都線の新快速は野洲から網干とか米原から姫路とか、長距離を複数の路線にまたがって運行している。そのため一ヶ所に不都合があると全体が大きく影響を受ける。当日も午後5時1分に山科、京都間で接触事故があり、京都、大阪間の運行が停まってしまった。これを知ったのは三条から京阪特急に乗ってからのなので、遅れる心配は無かった。
(記：梶野)

行動タイム

堺 07:32→09:33 三井寺→11:55 びわ湖大津プリンスホテル→17:02
JR 大津駅→17:16 二条→19:35 堺